

6-1 RTI のメッセージデザインを評価する

レベル 3 の自動運転では、システムが RTI を発してドライバーに運転交代を要請することがありますが、ドライバーが RTI に気づかなかったり、適切に対応できなかつたりする可能性があることにも配慮しておかなければなりません。そのことから、ドライバーに向けて発する RTI には、どのようなメッセージを込める必要があるかが重要になります。SAE J3016 が想定している RTI の基本形は、「T 秒以内に運転を交代してください」というものですが、第 5 章では、表 4 の自動化レベル (levels of automation : LoA) をヒントにすれば、RTI には、基本形のほかにもいくつかのメッセージデザインがあり得ることを明らかにしました。その結果をまとめたものが表 5 (再掲) です。

表5 システムがドライバーに運転交代を要請したいときの RTI メッセージ候補

基本形	「T 秒以内に運転を交代してください」
LoA 5	「運転を交代してください。運転が引継がれたことが確認でき次第、自動走行モードを解除します」
LoA 6	「T 秒以内に運転を交代してください。交代できない／交代したくない場合は拒否権を発動してください」
LoA 6.5	「直ちに運転を交代してください。今、まさに自動走行モードを解除しようとしているところです」

さて、表 5 に列挙された 4 通りの RTI のメッセージデザインのうち、レベル 3 の自動運転において最適なものはどれであるかは、どのようにすれば分かるのでしょうか。本章では、それぞれの RTI のメッセージデザインがもたらす期待効用 (効用の期待値) を比較評価することによって、最適なメッセージデザインを同定する方法を示します。